



## たしかな活動、大きな飛躍！ 自信を持って制度推進を図りましょう

茨城県行政書士会  
会長 國井 豊

年明け気分も束の間、暦の上では立春が過ぎ去り、新年度を迎えることとなりました。会員の皆さんには、ご活躍のことと拝察いたします。

日頃は、会運営をはじめ、行政書士制度の推進に対し、力強いご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。心より感謝いたしております。

おかげさまで、今年度も、計画予定した事業を、すべて滞りなく執行できそうです。長い時間をかけて定着しルーティン化した事業、時代の要請や国民からの期待によって芽を出した事業、時限的に推進された事業等々、スクラップアンドビルドの大方針に沿って、あらゆる角度から総括し、新年度の飛躍に繋げてまいりたいと思います。ぜひ、ご指導ください。

かつて、幾度となく取り挙げてまいりましたが、2月22日午後2時22分スタートの新春交流会は、会内外を問わず、出席者から数多くの賛辞をいただきました。会員、招待者ともに参加者の増加がみられましたし、限られた時間の中での効果的な演出によって、制度PRや認知度向上に貢献できたものと思います。また、例年、橋本知事、県議会議長、国会議員、首長の皆様にはご出席いただいておりますが、私たちの業務に直結する県行政職員の方々も、これまでになく数多く出席され、交流を深めることができました。今後の事業執行の大きな原動力、会員一人ひとりの活動の円滑化につながることとなるでしょう。来年もまた午後2時22分に、と締めくくった交流会。創意工夫の精神を忘れることなく、これからも展開してまいりたいと思います。

一方、会員一致団結し、がんばった災害支援協力は、貴重な経験則を得ることができま

した。また、法や制度の理念に沿った大きな社会貢献となったはずですが、物理的にも経済的にもかなりの制約がありましたが、これからの行政書士制度や行政書士のあり方を考える上でも、多くのことがみえました。昨今、市町村との災害協定締結を順次すすめておりますが、有事の際に機能し、役割を果たすことで、協定の目的を満足するような、組織体制を構築していかなければなりません。より良い方策について、再度検討をすすめてまいります。

ところで、法令遵守、非行政書士排除活動は、制度の根幹に関わる重要なテーマといえます。絶え間なく、重点的に取り組まなければなりません。その方法論も時代にあったものが求められます。今回、県内のいくつかの主要農業委員会をピックアップし、申請状況調査を行いました。当事者として、穴があったら入りたいような、厳しい現状に直面させられました。代理申請中、行政書士の申請が、50%に満たないところばかりであり、10%台もみられたのです。そうした中、県西支部管内の農業委員会では、他地区に比して、きわめて高い関与率が窺えました。安田康一県西支部長を中心とする非行政書士排除運動が、正鵠を射たものであることの証左といえます。先月、水戸市農業委員会のご理解ご協力により、申請窓口での立会調査を実施することができました。詳細は別記しますが、これを契機とし、他の農業委員会にも拡充し、継続する所存です。

制度推進が国民の利益であるとの崇高な理念を掲げ、期待される行政書士像をめざして、邁進してまいります。

会員の皆さんのさらなるご支援ご協力をお願い申し上げます。